

平成16年3月期 第1四半期業績の概況(連結)

平成15年8月7日

上場会社名 **三菱化学株式会社**

コード番号 4010

(URL <http://www.m-kagaku.co.jp>)

代表者 役職名 取締役社長 富澤 龍一

問合せ先責任者 役職名 広報・IR室長 中山 哲也

上場取引所 東・大

本社所在地 東京都

TEL (03)3283-6274

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における
認識の方法との相違の有無：

有：(内容) 法人税等については、年間予測税率を用いて
計算しております。

2. 平成16年3月期 第1四半期の業績概況

(平成15年4月1日～平成15年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	四半期(当期)純利益 百万円
平成16年3月期第1四半期	461,744	17,961	18,033	7,948
平成15年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)平成15年3月期	1,887,493	91,962	75,621	21,386

	1株当たり当期純利益 円 銭
平成16年3月期第1四半期	3 63
平成15年3月期第1四半期	-
(参考)平成15年3月期	9 75

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産 百万円	株主資本 百万円	株主資本比率 %	1株当たり株主資本 円 銭
平成16年3月期第1四半期	2,099,325	356,953	17.0	164 16
平成15年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)平成15年3月期	2,117,002	350,338	16.5	161 06

(注) 前年第1四半期の業績につきましては、四半期決算を実施しておりませんので、開示を省略しております。

(参考) 平成15年5月13日(平成15年3月期決算発表時)公表の平成16年3月期連結業績予想

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円
中間期	930,000	36,000	29,000	11,000
通期	1,930,000	92,000	77,000	24,000

3. 経営成績(連結)の進捗状況、財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等

(1)全般概況

当第1四半期の日本経済は、株式市況や設備投資などに回復が見られましたが、個人消費の低迷、不安定な米国経済に加え、重症急性呼吸器症候群(SARS)の蔓延に伴う東アジア地域における一時的な経済活動低迷の影響などから依然として停滞いたし、化学業界においても、ナガ高の継続等もあり、厳しい環境が続きしました。

このような状況下において、当社グループの当第1四半期の売上高は4,617億円、営業利益は180億円、経常利益は180億円となり、当期純利益は79億円となりました。

なお、当第1四半期中において、当社及び一部グループ会社は、5月から6月末にかけて鹿島事業所及び水島事業所の石油化学製品製造設備において定期修理を実施しておりますので、これら部門は、売上・利益とも通常より減少しております。

(2)部門別の概況

石化セグメント

石油化学製品においては、合理化等の諸施策を推進いたしましたものの、基礎石化製品については、原料ナガ価格が高水準で推移した一方、中国向け出荷が低調で市況も低下いたし、また、合成樹脂・エンジニアリングプラスチック等についても、原料価格の上昇などにより、厳しい状況が続きしました。なお、前記の鹿島事業所及び水島事業所における定期修理の実施により、当第1四半期において修繕費などの固定費は通常期より増加しました。以上の結果、売上高は1,810億円、営業利益は8億円となりました。

事業再編関係として、国内のポリレン事業における旭化成(株)との合併会社イー・アット・エム・スレン(株)が出光石油化学(株)のポリレン事業と統合し、4月1日から新たにPSジャパン(株)として発足いたしました。また、日本ポリカム(株)におけるポリカレン事業の一層の競争力強化を図るため、ポリレン事業については、日本ポリカレン(株)と事業統合して本年9月1日付で日本ポリレン(株)を、ポリレン事業では、フジ(株)の同事業と統合して本年10月1日付で日本ポリレン(株)をそれぞれ発足させることにいたしました。

機能化学セグメント

ユークスは、国内の需要堅調により好調に推移しました。光ディスクは、DVDを中心としたマーケットの伸長に支えられ、引き続き好調に推移しました。一方、アモニア系製品は、原料価格上昇の影響を受けました。以上の結果、売上高は1,126億円、営業利益は99億円となりました。

機能材料セグメント

ポリエステルフィルム、土木・建築材料など、概ね堅調に推移したことから、売上高は780億円、営業利益は29億円となりました。

ヘルスケアセグメント

三菱ケルファーマ(株)における米国血漿分画事業からの撤退や脳保護薬「ラジカド注」の売上げが鈍化したことなどから、売上高は717億円、営業利益は71億円となりました。

サービスセグメント

各事業とも概ね見込みどおりに進捗し、売上高は186億円、営業利益は2億円となりました。

(3)財政状態(連結)の変動状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ177億円減少し、2兆993億円となりました。

また、有利子負債は、前連結会計年度末に比べ178億円減少し、9,444億円となりました。

4. 平成16年3月期 第1四半期 要約財務諸表

(1) 要約連結損益計算書

	当第1四半期 (平成15.4.1～平成15.6.30)
売上高	461,744
営業利益	17,961
持分法による投資利益	2,096
その他営業外収益・費用	2,024
経常利益	18,033
特別利益	2,755
特別損失	2,414
税金等調整前当期純利益	18,374
法人税等	7,647
少数株主利益	2,779
当期純利益	7,948

<参考>

(単位: 百万円)

前連結会計年度 (平成14.4.1～平成15.3.31)	当上期業績予想 *平成15年5月13日公表 (平成15.4.1～平成15.9.30)
1,887,493	930,000
91,962	36,000
4,752	3,000
21,093	10,000
75,621	29,000
24,971	11,000
56,771	13,000
43,821	27,000
19,840	11,000
2,595	5,000
21,386	11,000

(2) セグメント別連結売上高

	当第1四半期 (平成15.4.1～平成15.6.30)
石化	180,972
機能化学	112,563
機能材料	77,963
ヘルスケア	71,686
サービス	18,560
合計	461,744

<参考>

(単位: 百万円)

前連結会計年度 (平成14.4.1～平成15.3.31)	当上期業績予想 *平成15年5月13日公表 (平成15.4.1～平成15.9.30)
679,106	363,000
451,830	212,000
320,699	158,000
319,970	147,000
115,888	50,000
1,887,493	930,000

(3) セグメント別連結営業利益

	当第1四半期 (平成15.4.1～平成15.6.30)
石化	799
機能化学	9,858
機能材料	2,926
ヘルスケア	7,148
サービス	210
コーポレート	2,980
合計	17,961

<参考>

(単位: 百万円)

前連結会計年度 (平成14.4.1～平成15.3.31)	当上期業績予想 *平成15年5月13日公表 (平成15.4.1～平成15.9.30)
20,630	5,000
30,444	11,000
10,829	7,000
30,501	17,000
9,849	2,000
10,291	6,000
91,962	36,000

(4) 要約連結貸借対照表

	当第1四半期 (平成15.6.30)
現預金	68,720
営業債権	446,450
たな卸資産	292,385
その他流動資産	113,873
固定資産	813,513
投融資等	364,384
資産合計	2,099,325
有利子負債	944,358
営業債務他	638,043
負債合計	1,582,401
少数株主持分	159,971
資本金	145,086
資本剰余金	116,978
利益剰余金	102,032
その他	7,143
資本合計	356,953
負債、少数株主持分及び資本合計	2,099,325

<参考>

(単位: 百万円)

前連結会計年度 (平成15.3.31)
65,268
479,292
276,072
102,827
830,072
363,471
2,117,002
962,197
638,952
1,601,149
165,515
145,086
116,978
100,611
12,337
350,338
2,117,002